

「和紙ちぎり絵を中国へ広めよう」活動

5月29日（火）～6月5日（火）まで、和紙ちぎり絵を中国へもっと広め、和紙事業振興、及び和紙ちぎり絵を介した芸術交流を進め、日中の平和友好を促進するために、公益財団法人広島平和文化センターより補助金をいただき、虹橋の会の5人（和紙ちぎり絵講師3名、撮影報道者1名、通訳1名）で、中国大連・ハルピンへ渡って、「和紙ちぎり絵を中国へ広めよう」という活動を行いました。

十数年前まで和紙ちぎり絵作家でがんび舎の主宰の亀井健三先生が黒竜江省への和紙ちぎり絵の普及活動に尽力されていたが、亡くなられ10年間途絶えていた。中国にはない和紙を使ったちぎり絵交流を中国側が切望されていた様子が、今回のハルビン市訪問で実感できた。こちらは、広島県のひとつのNPO法人であるが、中国側は省、市を代表して歓迎していただいた。

今後継続して中国のもっと広いところへの普及、拡大をしていくため、人的な面、資金的な面を充実させる必要があると感じた。そのための会員の拡大が急務であると思われる。

また平和文化都市広島を活動拠点としている活動意義を再認識し、和紙ちぎり絵交流を継続、発展させ、虹橋の会全員微力ながら日中平和友好活動に虹橋を架け、貢献したいと思っている。

大連市沙河口区教師進修学校所属美術教師の皆さんへ和紙ちぎり絵の指導の様子

2012年5月30日（水）午後



黒龍江省美術館での黒竜江省美術協会幹部の皆様と和紙ちぎり絵普及び日中芸術交流の進め方等意見交換。

2012年6月1日（金）午前

黒龍江外国語学院芸術系の皆さんと責任者との交流 2012年6月1日（金）午後



黒竜江大学芸術学院の皆さんの和紙ちぎり絵制作風景

2012年6月2日(土)午前



ハルビン老年人大学の皆さんへちぎり絵の指導風景

熱心で、情熱的に取り組んでおられたのが老年人大学の皆さん

2012年6月2日(土)午後



老年人大学の参加者から

「中日友誼長存」の書もらった

2012年6月2日(土)午後